

紙製ハンドタオルの水平リサイクルシステムを確立 ～星野リゾートの4施設で6月1日から開始～

王子ホールディングス株式会社(代表取締役社長:磯野裕之、本社:東京都中央区)と、グループ会社である王子ネピア株式会社(代表取締役社長:森平高行、本社:東京都中央区)は、星野リゾート(代表者:星野佳路、本社:長野県軽井沢町)と共同で、紙製ハンドタオルの水平リサイクル[※]を開始しました。

当社は、2024年6月から「星野温泉 トンボの湯」で使用された紙コップを回収し、nepiaハンドタオルとして再生し、同所で再利用しています。

本取組では星野リゾートの4施設でnepiaハンドタオルを含む紙製ハンドタオルを回収し、王子ネピアの協力工場
でnepiaハンドタオルとして再製品化させます。これにより、従来の紙コップのリサイクルに加え、「ハンドタオル to
ハンドタオル」の水平リサイクルが実現し、完全循環型リサイクルシステムを確立します。



再びハンドタオルとして生まれ変わります

ハンドタオルの水平リサイクルシステム

使用済みハンドタオルは、水を吸っても破れないように紙に強度を持たせているため、溶解性が悪く、汚れや臭い
の問題からリサイクルが難しい状況にありました。さらに、回収ルートが存在しないため、これまでは焼却処分さ
れることが一般的でした。

当社は協力会社(株式会社ツチハシ、本社:長野県茅野市、代表取締役:土橋嵩史)と連携し、既存の物流網を活
用した回収ルートを構築するとともに、王子ネピアの協力工場
で独自の技術により溶解性を向上させ、効率的に
繊維分(パルプ)を回収し、ハンドタオルとして再製品化することに成功しました。

星野リゾートは、使用済み紙製ハンドタオルの排出量が多い、「星のや軽井沢」、「軽井沢ホテルプレストンコート」、
「軽井沢エリア 村民食堂」、「リゾナーレハケ岳」の4施設で参画しました。この4施設間には、もともと日用品や消耗
品を納品していたツチハシの定期便が運行されていたため、使用済み紙製ハンドタオルの回収・納品ルートは、こ
の定期便を活用することで、新たな輸送は発生せず、追加のCO2排出も抑えられます。

2025年1月15日から2月14日をテスト期間とし、この期間に4施設から回収された使用済み紙製ハンドタオルは58.3kgに達しました。これは年間約700kgに相当し、nepiaハンドタオルに換算すると年間2,917パック(1パック200枚入り)の再製品化が見込まれます。再生されたnepiaハンドタオルは前述の4施設で利用される予定です。

※)使用済みの製品を原料として使って、同じ製品を新たに作ること。



星野リゾートの4施設でのハンドタオル使用・回収の様子

近年、脱プラスチックに向けた代替素材として紙の需要が高まっており、持続的なマテリアルリサイクルの重要性が増しています。王子グループは、資源の循環利用に寄与し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

《関連リリース》

>星野リゾートと共同で紙コップのマテリアルリサイクルを開始

<https://www.ojiholdings.co.jp/portals/0/resources/content/files/news/2024/jp06hp14.pdf>

本件に関する問い合わせ先

王子ホールディングス株式会社

グループオペレーション本部 リサイクル推進部

TEL:03-3563-1130 E-mail:ohd.recycling-system@oji-gr.com

コーポレートガバナンス本部 広報IR部

TEL:03-3563-4523 E-mail:oji-holdings@oji-gr.com